

# スコットランドにおけるコミュニティガーデンの持続性に関する研究

畝本 拓人

キーワード： スコットランド、コミュニティガーデン、持続性、アンケート調査

## 1. 研究背景と目的

コミュニティガーデン(以下 CG)は市民が参加できる持続的な農的活動実践の場として重要である。CG の先進国である英国では Federation of City Farms & Community Gardens (以下 FCFCG) と呼ばれる中間支援組織のような持続性を担保する仕組みが存在する。しかし、2010 年に FCFCG が作成したスコットランドにおける CG のマップに記載されている CG のリストと 2015 年時点で FCFCG の Web サイトから確認できる CG のリストを比較すると、いくつかの CG が確認できず消失した可能性があり、持続性に課題があると推察される。本研究の目的は、スコットランドにおける CG の事例調査を通じて、CG が持続するための要因の実態を明らかにするとともに、その改善に有効な提言を行うことである。

## 2. 結果と考察

スコットランドにおける CG の実態とマネージャーが抱えている持続的な CG の運営における課題や不安を明らかにするために、スコットランドにおいて事前調査として 14 件の CG で聞き取り調査を 2015 年 10 月から 3 か月間行った。その結果、少なからぬ CG のマネージャーが「運営のための人材の持続」と「運営資金の持続」の 2 点において、不安を感じていることが分かった。そこで、本研究ではその 2 点の要因に焦点を当てた。前述の 2 点の要因を踏まえた上で、スコットランドにおいて 10 件の CG のマネージャーに対して聞き取り調査とアンケート調査を 2016 年 10 月から 1 か半月にわたり実施した。加えて、スタッフ・ボランティアに対してもアンケート調査を実施し、10 件中 6 件、合計 37 人から回答を得ることが出来た。

「運営のための人材の持続」に関しては、主な労働力であるボランティアが重要となると考えられる。そこで、19 人のボランティアのアンケート回答結果をから「ボランティアが参加する動機」、「ボランティアの満足度」について見てみると、ボランティアは多様な参加動機を抱いている一方で、全員が CG での自分の仕事やマネージャーに対して満足していることが分かった。しかし、幾つかの CG ではマネージャーがボランティアの不足を感じていることから、CG 内部ではなく潜在的なボランティア希望者と CG を繋ぐ外部環境にも課題が存在すると考えられる。また、ボランティアが参加するきっかけとなる CG の情報獲得手段は、「人からの紹介」と「組織・団体からの紹介」が多いことが分かった。「運営資金の持続」に関しては、主な収入源となっている行政からの補助金は不安定な状況にあり、持続的な運営のためには安定性の高いファンド獲得の重要性が高いことやカフェや募金などでの収入増加を目指す CG 側の努力、事業内容を活かした資金の獲得なども重要となることが分かった。

## 3. 結論

CG の運営における労働力はボランティアによって支えられているため、「運営のための人材の持続」において重要な点は、現行ボランティアの継続と新規参加者の獲得であると言える。本調査の範囲では、ボランティアは現状 CG での活動に対しほとんど不満を抱いておらず、「人材の持続」における大きな障害や課題は確認されなかった。そこで、新規参加者獲得のために、行政や支援組織が CG のボランティア仲介や CG の魅力を知ることが出来る機会を増やし、CG の運営側もより効果的な人と人との繋がりや関係組織からの紹介を意識した広報活動を行うことが重要となると考えられる。

「運営資金の持続」に関しては、行政の補助金に頼るのではなく安定性の高いファンドの獲得が重要である。同時に民間企業との協力や生産物の販売など独自の資金獲得手段を模索することも重要である。また、行政も可能な限り長期的かつ安定性の高い経済支援制度を整えると共に、National Lottery のようなファンド側も多様な CG に対応できるような柔軟なファンド支援体制を整えることが必要となると考えられる。